

平成29年度第7回多良木町議会（3月定例会議）町長施政方針に係る質問事項

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
⑨久保田 武治 議員	1 地域づくりについて	(1) 地域に新しい変化をつくり、地域外の人材を巻き込み活躍の基盤を作っていくと述べられたが、具体的にどう取り組まれるのか	町長
	2 集落型農業法人について	(1) 設立される農事組合法人「たらぎ大地」が、経営軌道に乗るよう支援をすることだが、どのような支援を検討されているのか	町長
	3 農産物のブランド化について	(1) 「多良木町に適した作物」「多良木町にしかないもの」を作り上げ、多良木ブランドを確立したいとのことだが、作目として何をお考えか。そのための施策は	町長
	4 企業誘致について	(1) 「在宅ワーク」「テレワーク」など様々な形態での企業誘致に言及されたが、どのような戦略・アプローチをお考えか	町長
⑫坂口 幸法 議員	1 施政方針について	(1) 第五次多良木町総合開発計画並びに地方創生総合戦略に則っての施政方針と思われるが、新規事業に対しての具体的政策内容について (2) 施政方針とは、前年度の施政方針の検証、評価等を踏まえての内容であると思われるが、いかがお考えか (3) 施政方針の重要施策の方向性と喫緊の課題について	町長
⑦高橋 裕子 議員	1 施政方針	(1) 施政方針に於ける施策と方向の確認	町長
⑤山中 馨 議員	1 防災について	(1) 町長が述べられたとおり、本町でもいつ、どこで災害が発生してもおかしくないと思うが、本町の防災について何から実行されるのか	町長

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
	2 町の財政について	(1) 国の歳入はわずかだが伸びていると示された。しかし、本町の自主財源である町税は前年度よりマイナスになっている。自主財源の確保は	町長
	3 地域づくりと集落支援は	(1) 本町でも過疎化が進み、昔の様に住民同士で支え合うことが困難な地域が出ている。そのような地域の集落支援は	町長
	4 移住・定住支援策は	(1) 本町のこれからの移住・定住支援策は	町長
	5 農業政策と人手不足対策は	(1) 農事組合法人「たらぎ大地」が設立されるが、目的の一つに後継者不足と労働力不足の対処があると思うが、これらについての施策は	町長
	6 稲作について	(1) 30年産米以降は行政からの生産数量目標の配分が廃止され、産地において需要に応じた生産ができるようになるとのことだが、本町の稲作の見通しは	町長
②林田 俊策 議員	1 地域づくりの担い手について	(1) 移住・交流施策を通じて積極的に課題解決に取り組むとあるがその具体策は (2) 地域協力隊の施策が導入されているが、「地域固有の可能性を探る」作業はどのようなものがあるのか (3) 「自ら関わりを持つ」という自覚を町民に持っていただく施策はどのようにするのか (4) 「それぞれの役割を再考・再検討する必要な時期」とあるがその具体策は	町長
	2 たらぎ大地支援策は	(1) 農業機械等導入補助金の概要は	町長
	3 農産物多良木ブランドについて	(1) 多良木ブランドの概念規定・定義はどう考えているのか	町長

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
	4 高校跡地利用について	(1) 対立の構図とは何を指されているのか (2) 喪失感を埋める施策はどんなことが考えられるのか (3) 町長が考えるファシリティー・マネジメントとはどのように考えているのか	町 長
	5 少子化対策について	(1) 少子化の原因を結婚する方の減少が原因と規定されているがその対策は (2) 子育て3点セットの「二の矢」と考えられる小・中学入学に係る助成制度等の予算計上の基本理念は何なのか (3) 次年度「三の矢」はどのような施策を考えるべきか	町 長
	6 企業誘致の考え方について	(1) 従来型の企業誘致からのシフトチェンジの町民に対する理解を進めるべきでは	町 長